

1. 開催年月日 平成29年1月20日(金) 13時30分～15時00分
2. 開催場所 岐阜県可児市広見七丁目90番地
株式会社ケーブルテレビ可児 会議室
3. 出席委員数 5名(欠席4名)
4. 事業者側出席者数 3名
5. 議題
 1. 番組試聴および審議
 2. 放送番組全般について

6. 審議内容

次の番組を聴取し、審議した。

11月12日(土) 18:30～
FMららサタデーライン
「お耳の恋人～ハイスクールレディオ」
パーソナリティ：井上優真

- ・学業も兼ねながらの制作は心配もあったと思うが、反響も多く安心しているのでは。番組が続けばFMららの聴取者の拡大に貢献してもらえと思った。滑舌がよく、芸人を目指しているのがよくわかる子で、元気に活躍していくと思う。
- ・聴取者層が絞られる番組でも、反響が大きいのは評価すべき点。
- ・この子を起用した理由は悪くないと思う。世代によって好みやとらえ方の違いがありそうだが、このような番組がきちんと放送されるのはいいことだと思う。若い世代にとって、同世代の子が頑張っていると伝わっていくことで影響が広がり、リスナーが増えるといいと思う。
- ・まちづくりでも、高校生が関わることによって今までと違った人たちが参画してくれるようになる。こうした視点からすると、最近若い子はFMを聴かないので、友だちや親世代を通じてリスナーの世代が広がっていくのはいいと思う。親世代の反響が多いのは、放送時間帯が関係しているのでは。時間帯によっては高校生たちも聴くと思う。自分の生い立ちという話題は、進路を考える同世代にとって非常にいいと思う。話し口調については様々な意見があると思うが、斬新な番組だったといえるのでは。
- ・ひとつの話題が延々と続くため、ひと息つけるところがほしい。何かをしながら聴くと、話についていけなくなる恐れがある。
- ・話し方は高校生にしては丁寧という印象だった。今の若者として標準的なので良いと思う。構成は、先に出た意見同様に、話が長すぎると感じたので、所々に落ちを作っていくようスタッフから助言があると良かった。話の内容は、上の世代が若いころを振り返るようなもので、高校生の感じていることを高校生の目線で話すことを求めるなら、内容も構成の仕方もそれに応えられるものになっていけるとより良いと思う。私としては楽しめた。
- ・ゲストが出ている回も聴いてみたい。井上さんがすごい高校生だということは誰もが感じたと思う。声の乗りがよく、聴き取りやすい声は持ち味ですね。郷土を背負って立派に活躍してくれるといいですね。

12月18日(土) 19:00～
FMららサタデーライン
「田中慈人の慈しまれへん!!!」
パーソナリティ：田中慈人

- ・テンポも良いし聴き取りやすい。しゃべること自体に慣れている印象で、話し方もやわらかく耳なじみが良いので好感が持てた。掛け合いで電話がつながった瞬間などのライブ感を出す、構成として、前半の落ち着いたしゃべりとのコントラストがついて良かったと思う。
- ・電話がつながらないことを伝えるためにあの状況を録音したと思うが、その間に、蜂屋柿について自分が知っていることや感じたこと等を交えながら伝えると変化がついて良かったのでは。
- ・話は上手で語りかける言葉は聴きやすかったが、蜂屋柿にまつわることに触れながら進めてほしかった。
- ・場面が変わってからの状況がよくわからず、もっと言葉で説明を入れてもらえると良かった。
- ・この部分だけ聴くと、前半はイメージがわからなかった。話をふくらませてくれる相棒などがいると良いのかなと思った。

2. 放送番組全般について

- ・リスナーからは、良いことも悪いことも指摘してもらえるくらい、多くの方にしっかり聴いてもらえるというのがいいと思う。そうでなければ、災害時などに活用してもらえない。
- ・モーニングラインの放送時間が変わったことに対する、リスナーからのメールやFAXの内容があたたかくて良かった。「時間がずれたけど何とか聴きたいです」「がんばってますね」など。それぞれのパーソナリティの持ち味やよさをよくみていて、皆さん励まされているのではないか。さらにいい番組を作るために工夫してくれている成果が出ていると思う。
- ・ある行政番組のお知らせのコーナーで、5～10分間に「市の〇〇課にお問い合わせください」と案内が入っていたが、どの市のことかわからない。途中で何市なのかわかる情報を入れてほしい。
- ・朝のエリアニュースについて。日にちが経ってニュース性のないものがあるので、記事によっては「こんな話題を紹介しました」とした方がよい。

以上の意見が出され、全員承知した。